



います。集団接種を併用する方向で協議を重ねるなど、円滑なワクチン接種が行えるよう最終段階の調整を図っているところであり、一刻も早く、接種体制やスケジュールを市民の皆さんにお伝えできるよう努めていきます。

一方、コロナ禍で、さまざまな困難に直面されておられる市民や事業者の皆さんへの支援として「たかしま応援プロジェクト」を立ち上げ、これまでに、地域通貨アイカの発行をはじめとした、第1弾から第6弾までの市独自の支援策を展開してきたところでありますが、去る2月22日には、高島市議会各会派連名での緊急の要望内容を踏まえ、できる限り、速やかな対応を図る必要があると考えており、今定例議会中に、新たな支援策を追加提案させていただきます。最終調整を行っているところです。

## 特集

# 住みたい、住み続けたい「高島」の実現へ

問 秘書課 ☎ (25) 8415

令和3年3月1日開会の高島市議会定例会において、福井市長は、3期目の市長就任にあたっての所信を述べました。ここでは、その概要をお伝えします。

### はじめに

まずは、この度の市長選挙におきまして、多くの市民の皆さんからご支持をいただき、3期目の市政をお預かりすることになりました。

改めまして、選挙運動期間中に訴えさせていただきました「市政改革の継続と市民生活の安定」を柱に、市民の皆さんのご期待にしっかりとお応えするため、全身全霊で市政運営に取り組む所存であります。

### 「これまで」の2期8年間

市政運営におきましては、私の6つの未来政策を念頭に置きながら、市の総合計画や総合戦略に掲げました施策の着実な推進を図り、高島市のまちづくりに向けて

高島市長  
**福井 正明**



誠心誠意の取り組みを展開してきたところです。そうした中で、人口減少という時代の大きな流れは避けられない中にありましても、そこに住む人々がいきいきと暮らし、地域に活力を生み出しながら、将来にわたって持続的に高島市が発展していけるよう、これまでさまざまな施策の展開を通して、多くの種をまいてきました。

### 「これから」の4年間

これからの4年間は、その種が実を結び、「住みたい、住み続けたい」「高島」の実現に向けて、大きく飛躍するためにも、極めて重要な時期を迎えています。

そのため、これまで進めてきた人口減少対策やインフラ整備の更なる充実を図ることはもとより、新型コロナウイルス感染症か

ら、市民の皆さんの命と健康を守り、地域経済の速やかな回復に取り組むことが喫緊の課題です。

市政の現状を踏まえ、「新未来政策」として、7つの分野にわたる、31の項目を市民の皆さんと約束をさせていただきまします。

### ① 新型コロナウイルス感染症防止対策

皆さんの命と健康を守り、そして安全安心な生活をお支えることを最優先に、医療提供体制の確保をはじめ、市民生活や事業活動等への支援などに努めているところです。

この対策の決め手とされるワクチンの接種につきましては、一部具体的な内容について公表もされており、高島市医師会の皆さんや市民病院とも連携しながら、かかりつけ医での個別接種と、市が行

### ② 産業

#### 観光振興

まず、会員制リゾートホテルの建設につきましましては、昨年の秋、リゾートラスト株式会社からアフターコロナの時代に合ったホテルのコンセプトに見直した上で、スピード感をもって事業を進めていくとの方針をお伺いし、ようやく具体的に動き出すこととなりました。

この大規模なプロジェクトは、高島市のブランド力の向上や雇用の拡大、地元食材の供給等、多大な波及効果が期待できますことから、市としましても、必要となる支援を積極的に行ってまいります。

また、国道161号の小松拡幅の整備や北陸新幹線の敦賀駅開業、国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の滋賀県開催、大阪万博の開催などが迫っていることから、これらを高島市の活性化に繋げる好機ととらえまして、JR湖西線の利便性向上をはじめ、近江今津駅とその周辺地域の活性化策の検討などにも取り組んでまいります。

### ③ 子育て・教育・女性

#### 教育・女性

これまで、県内他市に先駆けて、3年生までの医療費や保育料の無償化により、子育て環境の充実・支援に取り組んできましたが、人口減少の中で、若い世代の皆さんが「高島市を選び、高島市で暮らし、結婚し、子どもを産み育てていただく」ためには、もう一段の支援策が必要と考え、在宅での育児を支援するための方策や、児童生徒の給食費の負担軽減についても、速やかに実現に向けて取り組んでまいります。

また、市内の小・中学校で設備が完了しました「一人一台のタブレット端末」を活用して、次の世代を担う子どもたちが社会の中で力強く生きていくための「確かな学力」を育むとともに、創造性豊かな教育を推進していきます。

さらに、女性の活躍につきましましては、男女共同参画の推進のほ

さらに、コロナ禍での生活様式の変化から地方の魅力が見直されてきている状況をとらえ、これを関係人口の拡大や移住・定住に繋





か、女性の就業支援により、女性が活躍できる環境の整備と支援をしてまいるとともに、ワークライフバランスなど働きやすい環境整備を、さらに進めていきます。

#### ④医療・福祉・スポーツ振興

市民の皆さんの健康をお支えする高島

市民病院は、湖西保健医療圏域における中核病院、二次救急医療機関として、また、新型コロナウイルス感染症をはじめとする第二種感染症指定医療機関として、大変重要な役割を果たしています。

新型コロナウイルスの影響から、厳しい経営環境にありますものの、さらなる医療サービスの充実を図るとともに、本年4月からは、介護老人保健施設「陽光の里」との事業統合により、医療と介護



#### ⑥生活基盤の整備

##### 整備

幹線道路である国道161号、303号、367号の3路線は、いずれも市民生活にとって極めて重要な役割を担っています。

とりわけ、国道161号の大江市北小松地先と安曇川町青柳地先の早期完成ができますよう、国等の関係機関に強く働きかけを行いますとともに、引き続き、高島白鬚地先や湖北バイパスの整備に向けても、しっかりと取り組んでいきます。

また、人口減少に伴い、集落の地域コミュニティが弱体化する傾向にあるため、昨年3月に策定しました「高島市地域コミュニティ推進指針」に基づきまして、令和3年度中に、中学校区単位に住民自治協議会を設立することとしており、現在、各地域の準備委員会

の連携を強化し、サービス水準の一層の向上を目指していきます。

令和3年度からは、現在策定を進めています、新たな「高齢者福祉計画・介護保険事業計画」、「障がい者計画・障がい福祉計画・障がい児福祉計画」に基づきまして、高齢者や障がいのある方々が住み慣れた地域で安心して暮らし、支え合いながら活躍できる地域共生社会の実現を、さらに進めていきます。

また、令和7年には国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会が滋賀県で開催されますことを契機に、人生100年と言われる時代において、健康づくりとともに、競技スポーツや生涯スポーツの普及と強化に取り組んでいきます。

#### ⑤防災・環境・文化振興

近年は、気候変動により、全国各地で災害が頻発している中で、豪雨災害や巨大地震等の大規模災害に備え、公共インフラの強靱化を図るとともに、地域との連携によるソフト対策を組み合わせながら、災害への十分な備えを推進してまいります。

次に、新たなごみ処理施設につ

でさまざまな議論をいただいているところとです。今後、小さな集落単位では担えなくなってきた共助の取り組みを支える新たな住民自治の仕組みとしてスタートさせていきたいと考えています。

#### ⑦市役所改革の継続

##### 継続

これまで、2期8年間、市役所の組織力の強化と、人材の育成には特に意を用いて取り組んできました。全職員が一丸となって全力で各種施策の推進に取り組む組織体制や職場風土を醸成し、それを次の世代にしっかりとバトンタッチするために、引き続き、市民の皆さんにしっかりと寄り添いながら、あらゆることにチャレンジし、最大限の力を発揮できる組織や職員を育てていけるように、努めていきます。

一方で、これまでの行財政改革の取り組みとして、公共施設の再編や、企業や大学等とのさまざまな連携協定の締結、あるいは遊休財産の売却処分や、民間委託の更なる拡大などに取り組んでまいりました。

行財政改革の推進は、時には厳しいご意見をお受けすることもあ

いてであります。

既にご承知のとおり、先に候補地として選定いたしました用地の取得議案につきまして、市単独での整備方針や建設予定地の公募方式、さらに建設予定地の決定経過などにつきまして、市議会に對し、その都度、丁寧に説明し、ご報告申し上げ、また、ご意見をお聞きしてきたところでありますが、市議会で二度の否決という、大変残念な結果になりました。

今後の進め方につきましては、選挙中にも市民の皆さんにお訴えしましたように、もう一度、市内で建設予定地を公募することとし、環境センター整備方針の再策定につなげていきたいと考えているところでです。

次に、文化振興につきまして、本市は優れた自然景観のほか、歴史の舞台に登場する数多くの歴史遺産や文化財を有していることから、現在策定を進めています「文化財保存活用地域計画」に基づきまして、地域に根ざした文化活動を大切に、高島の伝統行事や歴史遺産・文化的景観などの保存・継承・活用に努めてまいります。

りますが、将来にわたって高島市が持続的に発展を続ける上では、避けて通ることのできない課題であることから、中・長期的な財政運営を勘案しながら、引き続き取り組んでいきます。

また、高島市のふるさと納税は、関係人口の開拓とともに、市内の特産品を全国にお届けできる絶好の機会と捉え、令和2年度は「6億円」の寄付を目標に取り組みを展開し、現時点では、目標額を大きく超える「約6億2千万円」という、これまでで、過去最高額の寄付をいただいているところで

全国からお寄せいただいた寄付は、今後も、子ども医療費や保育料の無償化、妊婦健診の助成など、滋賀県下でも最高水準の子育て支援策等に活用し、移住定住など地域の活性化につなげていきます。



#### おわりに

現在の高島市は、人口減少問題や道路などのインフラ基盤の整備、あるいはごみ処理施設の整備など、引き続き、さまざまな課題に直面していますが、めまぐるしく変化する社会情勢と、高島の将来をしっかりと見据えながら、職員と一丸となり、「地方創生への挑戦」や、「改革への気概と覚悟」、さらには「スピード感」をもって、今後も全力で市政運営に取り組んでいく所存です。

今後の市政発展のため、その使命を果たせますよう、市議会の皆さんはもとより、市民の皆さんには格別のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。3期目のスタートにあたりまして私の所信とさせていただきます。

動画公開中!



YouTube 動画はこちらからご覧になれます。



所信表明の全文は、市のホームページ「Web市長室」の「施政方針」コーナーに掲載しています。

